

狭山ケーブルテレビ株式会社

令和 6 年度 放送番組審議委員会 議事録

開催日時 令和 7 年 3 月 11 日（火） 15:00～17:00

開催場所 狭山ケーブルテレビ株式会社 本社 3 階会議室

出席委員 吉田 徹弥（委員長） 黒川 進（副委員長）

北田 奈緒美 山崎 康成 東山 徹

欠席委員 宮野 圭司 高野 里美

局出席者 清水 武信（代表取締役会長） 清水 信之（代表取締役社長）

大塚 一正（メディア事業部長） 藤田 敏行（メディア事業部企画制作課長）

1. 開会（進行 藤田）配布資料確認

2. 清水社長あいさつ

3. 吉田番組審議委員長あいさつ（議事進行）

4. 報告事項

（1）営業関連＜清水社長＞

■2025 年 3 月 加入数集計報告

サービス別累計加入数による最新の集計では放送視聴世帯合計は 34,466 世帯で

前年度純増減数は 1,385 世帯

2027 年 3 月までを目指し、光サービスへの移行は、予定通り進んでいると思われる。

（2）コミュニティチャンネル関連＜大塚部長＞

■令和 6 年度番組関連報告

・番組の定着化

「MASARU のごきげんチャージ」「気ままにお店めぐり」などバラエティに富んだ番組制作を行い、他の光コラボ業者との差別化を図り、契約獲得及び解約防止の手助けとなる内容の充実を進めていく。

・七夕まつり生中継

・衆院選取材

・新年特番

・県内ケーブルテレビとの連携

・YouTube チャンネルなど SNS の活用

YouTube チャンネル 登録者数 2,200 人 主目的はブランディング

LINE 公式アカウント登録者数は 1,428 人 プレゼント企画に合わせ、番組アンケート実施、意見の吸い上げを行い、番組制作に役立てる。

・メディアコーディネートチーム(MCT)と連携してのオンライン配信サービスの定番化

■令和 7 年度目標

・生放送の有効活用

⇒スマホなど簡易的ツールの活用により、リアルタイム感を出したコンテンツ制作

・ライブカメラの設置

⇒本社屋上に定点カメラを設置。放送や WEB にて公開

・CM・デジタルサイネージ等、映像制作の強化

⇒番組制作におけるクオリティー向上や、様々なジャンルの映像制作依頼に対応する事により、売上やブランディングの向上を狙う。

◎質疑応答

「委員」

選挙報道のこれからについては・・・

「清水社長」

政治分野については積極的に取り上げていきたい

出口調査や公開討論会など

「委員」

会社 VP 制作についての現状は

「清水社長」

年間 3～4 本の動画制作を MCT で制作、東京都の補助金対象の制作物も受注。

「大塚部長」

デジタルサイネージ用映像制作（飯能信用金庫様とのビジネスマッチング）（年 4 本程）

番組収録をきっかけに、当社でも映像制作が対応できる旨を説明し、企業 CM 等の受注も増えてきつつある。

「委員」

メイン番組の中で、もっと狭山独自のもの（学習ものは是非）は出来ないのか・・・

「清水社長」

是非みなさんからどのような番組が観たいかをお聞きたい

入間航空祭での YouTube のライブ配信が 3 万ビューをマークするなどライブ配信の活用にも力を入れていきたい。

「委員」

若者はテレビを観ず、TikTok やショート動画などを観たり制作したりしている

そのような大会を御社にて開催したらどうか・・・

「大塚部長」

最近の若者は編集なども AI を使ってクオリティーが高いので、開催は前向きに検討する

「委員」

「ガイアの夜明け(テレビ東京)」の狭山市版を制作し、市内の会社を取り上げてみては・・・

「清水会長」

33 年前に立ち上げた当社だが、その当時から比べ会社全体がおとなしすぎる、今が一番伸びる時期。新しい技術や考えで新会社を作る意気込みが必要では。ケーブルテレビでまだやれることがあるはず、伸ばせるはず。

「委員」

社会全体が調和という名目で、あまり率直な意見交換をする時間が少ない現状がある。

これはいろんな意味で危ない状況であり、面白いことを追求する大切さを持って欲しい。

その中で AI の導入は自分の会社でも実践しているが有効なので是非利用して欲しい。

5. 審議（質疑応答・その他について）

上記 4. 報告内においての質疑応答にて消化のため割愛

6. 閉会あいさつ（清水会長） 16 時 13 分閉会

以上